

平成24年度定時総会開催

6月20日(水)に、平成24年度定時総会を開催いたしました。役員選任、定款変更、および平成23年度決算報告の3議案が承認され、さらに、多田宏理事長の退任と水田邦雄新理事長の就任が報告されました。

総会開催にあたり、まず始めに川村隆会長からご挨拶がありました(右記参照)。続いて、厚生労働省より来賓としてご出席された西藤公司大臣官房審議官よりご挨拶をいただきました。始めに一般社団法人への移行に対しての祝辞を述べられた上で、「今年度版の高齢社会白書によりますと、日本の高齢化率は23.3%で、昨年より0.3ポイント上昇しています。今後も、総人口の減少と高齢化率の上昇は続き、75歳以上の方の割合や、高齢単身あるいは高齢夫婦世帯の増加が予想されます。さらに、大都市およびその近郊に住む高齢者の方々が飛躍的に増えていくでしょう。このようななか、シルバーサービスのニーズは増大、多様化していくと考えられ、会員の皆様のご尽力を期待する次第です。社会保障と税の一体改革の審議も大詰めを迎えており、持続可能な社会保障制度の構築に向けた取り組みを着実に進めていく必要があります。官だけでなく民間事業者の皆様のお力なくしては決して達成できませんので、皆様のご支援、ご協力を今後も賜りますようお願い申し上げます」とご挨拶くださいました。



議案につきましては、多田宏理事長の退任を含む役員選任、定款変更および平成23年度決算報告の件が説明

され、すべて賛成多数で承認されました。また、多田理事長の退任が承認されたことに伴い、総会終了後に平成24年度第2回理事会が開催され、理事長後任として、水田邦雄氏が選任されました。

多田理事長は、退任にあたり、「一般社団法人への移行を契機に、後進に道を譲ることいたしました」とご挨拶。平成15年に就任してからこれまでの感謝の意を述べ、「水田新理事長は、高い志を持ち、強い決意を持って物事に臨む大変立派な方です。そのような方に後事を託すことができ、新しい道を切り開いていただけることは、大変ありがたいことだと感じています。会員の皆様方始め、関係者の方々のますますのご隆盛とご健勝を心からご祈念いたします」と締めくくりました。

CONTENTS

定時総会開催	1
行政NEWS	2~3
各マークの新規・更新一覧	4
会員向け事業のご案内	5
知るNAVI Q&A/e-ラーニング	6

川村会長よりご挨拶



会長 川村 隆

会員の皆様、ご来賓の皆様、本日はお忙しいなか総会にご出席賜りまして、ありがとうございます。

現在、社会保障と税の一体改革の関連法案の国会審議が本格化していますが、社会保障に関するビジョンの全貌は明らかになつたとはいえません。社会保障制度の持続可能性の向上と財政の健全化が求められていますが、そのためには、消費税を含む税制の抜本改革、さらに社会保障給付の効率化に向けた取り組みを求めています。

また、これまで当会の懸案事項でした一般社団法人への移行につきましては、今年4月1日に移行登記を完了し、無事新法人設立に至りましたことをご報告いたします。今後もより一層のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新理事長就任のご挨拶



新理事長
水田 邦雄

このたび理事長に就任いたしました。定款を読みますとなかなかの大役で、身の引き締まる思いでございます。

日本は高齢社会白書によりますと、2025年までに75歳以上の方が現在の1,407万人からさらに700万人増えると推計されています。ただ、2025年を過ぎますと、しばらく2,200万人規模で落ち着く予想なので、2025年までが勝負で、介護の必要性も定量的に見えてくると思います。行政だけでなく、民間の介護事業者としても、力を発揮しなくてはなりませんし、そういう意味ではシルバーサービスは大きな可能性を秘めていると感じます。会員の皆様と共に邁進していくつもりですので、ご指導、ご鞭撻をどうかよろしくお願いいたします。

●一般社団法人シルバーサービス振興会とは●

シルバーサービスの質の向上と、その健全な発展を民間の立場で支えるために活動している一般社団法人です。

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番地3 日本自転車会館3号館 10階
TEL: 03-3568-2861 FAX: 03-3568-2874 <http://www.espa.or.jp/>

第1回介護事業経営調査委員会が開催される

介護報酬改定の基礎資料としている介護事業経営実態調査等について検討を行い、次期介護報酬改定に向けての議論へ繋げていくことを目的として、社会保障審議会介護給付費分科会に設置されている調査実施委員会の名称を改め、「介護事業経営調査委員会」と変更し、5月29日に第1回を開催した。

委員長には慶應義塾大学大学院教授の田中滋氏が就任し、その他介護給付費分科会の学識経験者等5人で構成されている。第1回の委員会では、10月に実施予定の「介護従事者処遇状況等調査」の調査項目等について検討するとともに、「介護事業経営分析等調査」の内容について意見交換がされた。

第91回社会保障審議会介護給付費分科会が開催される

6月22日に第91回の社会保障審議会介護給付費分科会が開催された。これに先立って行われた「介護事業経営調査委員会」における介護従事者処遇状況等調査の実施についての報告を受け、その内容の検討が行われたほか、厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチームの「今後の認知症施策の方向性について」の報告がなされた。

「今後の認知症施策の方向性について」に対して、大森彌分科会長はサービスの介護報酬などの議論で「この方向性を生かす」と発言したほか、各委員からもおおむね評価するという声があがった。概要は以下のとおりである。

【今後目指すべき基本目標】

- 「認知症の人は、精神科病院や施設を利用せざるを得ない」という考え方を改め、「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」の実現を目指す。
- この実現のため、新たな視点に立脚した施策の導入を積極的に進めることにより、これまでの不適切な「ケアの流れ」を変え、むしろ逆の流れとする標準的な認知症ケアパスを構築することを、基本目標とする。

【具体的な対応方策】

1. 標準的な認知症ケアパスの作成・普及
 - ①認知症の状態に応じた適切なサービスの提供
2. 早期診断・早期対応
 - ①かかりつけ医の認知症対応力の向上
 - ②「認知症初期集中支援チーム」の設置
 - ③アセスメントのための簡便なツールの検討・普及
 - ④早期診断等を担う「身近型認知症疾患医療センター」の整備
 - ⑤認知症の人の適切なケアプラン作成のための体制の整備
3. 地域での生活を支える医療サービスの構築
 - ①「認知症の薬物治療に関するガイドライン」の策定
 - ②一般病院での認知症の人の手術、処置等の実施の確保
 - ③一般病院での認知症対応力の向上
 - ④精神科病院に入院が必要な状態像の明確化
 - ⑤精神科病院からの円滑な退院・在宅復帰の支援
4. 地域での生活を支える介護サービスの構築
 - ①医療・介護サービスの円滑な連携と認知症施策の推進
 - ②認知症にふさわしい介護サービスの整備
 - ③地域の認知症ケアの拠点としての「グループホーム」の活用推進
 - ④行動・心理症状等が原因で在宅生活が困難となった場
5. 地域での日常生活・家族の支援の強化
 - ①認知症に関する介護予防の推進
 - ②「認知症地域支援推進員」の設置の推進
 - ③地域で認知症の人を支える互助組織等の活動への支援
 - ④「認知症サポーターキャラバン」の継続的な実施
 - ⑤高齢者の虐待防止などの権利擁護の取組の推進
 - ⑥市民後見人の育成と活動支援
 - ⑦家族に対する支援
6. 若年性認知症施策の強化
 - ①若年性認知症支援のハンドブック作成
 - ②若年性認知症の人の居場所づくり
 - ③若年性認知症の人のニーズ把握等の取組の推進
 - ④若年性認知症の人の就労等の支援
7. 医療・介護サービスを担う人材の育成
 - ①「認知症ライフサポートモデル」の策定
 - ②認知症ケアに携わる医療、介護従事者に対する研修の充実
 - ③介護従事者への研修の実施
 - ④医療従事者への研修の実施

第4回介護支援専門員（ケアマネジャー）の 資質向上と今後のあり方に関する検討会が開催される

7月9日に介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会の第4回が開催された。6名のプレゼンテーションが行われ、主に施設ケアマネジャーのあり方について議論が行われた。

木村隆次構成員（日本介護支援専門員協会会長）は、施設ケアマネジャーの研修・質向上の基本的な考え方として、ケアマネジメントの本質や根幹となるプロセスは、居宅と施設・居住系においても同じであるべきであるとした。また、施設におけるチームケアの推進体制の評価として、「入退所時連携加算」「看取り介護加算」「口腔機能向上加算」等施設ケアマネジメント体制加算を提案した。

折茂賢一郎代理人（全国老人保健施設協会常務理事）は、老健施設におけるケアマネジメントの課題を解決するため、全国老人保健施設協会が開発したケアマネジメント・システム「R4」を紹介し、それによって、「インテークのプロセスにより利用目的が明確になる」「ICFレベルアセスメントにより、変化を鋭敏にとらえることが可能になる」などの効果が出たとした。また、ケアマネジャーの役割等について会員3,468施設に調査を行った結果、ケアマネジャーと支援相談員との役割はある程度明確になっていることがわかったと報告した。

そのほか、兵庫県西播磨・中播磨地域で平成22年4月から運用されている「退院時情報共有ルール」が紹介され、退院時と退院後に病院とケアマネジャーが情報共有する仕組みが示された（日本作業療法士協会会長 中村春基構成員）。また、介護保険施設入所者や居住系サービス利用者のケアマネジメントを担うのは、施設外の地域で活動する居宅介護支援事業所のケアマネジャーであるべきとの提案（日本社会福祉士会副会長 田村満子代理人）などがあった。



意見交換では筒井孝子構成員（国立保健医療科学院統括研究官）が、「ストラクチャー・プロセス・アウトカムの3つの視点から質の評価を行うとした場合、介護支援専門員にとってのアウトカムはなにか」と問題提起。これについて、「施設ケアマネと在宅ケアマネは利用者層が異なり、アウトカムも異なる」「老健では医療目的をいかに達成するかが重要」「施設の違いにより目標が違うということには違和感がある。自立支援という根本の考え方を外してはいけない」などの議論が行われた。

次回開催は8月29日。厚生労働省はそれまでに論点・課題を整理することとなった。

Pick up NEWS

経済連携協定（EPA）介護福祉士候補者に配慮した 国家試験のあり方に関する検討会の報告書がまとまる

平成20年度から経済連携協定（EPA）に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れが開始され、候補者の初回の受験となった第24回介護福祉士国家試験では、受験した95名の候補者のうち36名の合格が発表された。

そのような状況のなか、EPAに基づく候補者の受け入れについて、両国間の経済連携の強化や友好といった観点から、国家試験のあり方など、一層の改善が求められており、本年3月より検討会が開催され、6月5日に報告書がとりまとめられた。

報告書では、日本語を母国語としない候補者が日本語のハンディキャップを補い、一人でも多く国家試験に合格できるように適切な配慮のため「国家試験におけるわかりやすい日本語への改善」「母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用の適否について」「候補者に対する試験時間の延長について」などが盛り込まれる他、学習支援についても示された。

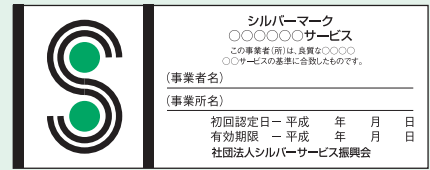
シルバーマーク・消毒マーク 新規・更新一覧 (6月認定)

シルバーマーク制度

良質な事業者を認定するサービス評価制度

シルバーマーク制度は平成元年に創設された福祉サービス分野で最も歴史と実績のあるサービス評価制度です。本格的な高齢社会を迎え、高齢者が安心して健康に暮らすことができる良質なサービスや商品を提供する事業者が求められています。シルバーマークとはそうした社会の要請に応え、本社・本部等へのマネジメント基準とシルバーサービスの種類ごとにサービス基準を設け、基準を満たした事業所に対して交付されるものです。利用者が事業者を選択するうえでの確かな目安となっています。

★表示様式のイメージ



■新規

訪問用具貸与

- 長野さくらメディカル(株)
長野さくらメディカル(株) …… (長野県)

■更新

訪問介護

- (株)社会福祉総合研究所
ロイヤルレジデンス川島 …… (埼玉県)
ケアサポート・ロイヤル …… (埼玉県)
ロイヤル佐倉訪問介護ステーション …… (千葉県)
ロイヤル八幡訪問介護ステーション …… (京都府)
ロイヤル御殿山訪問介護ステーション …… (大阪府)

- (株)リポーン
株式会社 リポーン …… (新潟県)
- (株)エルフ
ヘルパーステーション福島 …… (大阪府)
- (有)ハヤシ
(有)ハヤシ …… (奈良県)

訪問入浴介護

- (株)広島福祉サービス
訪問入浴介護事業部 …… (広島県)

福祉用具貸与

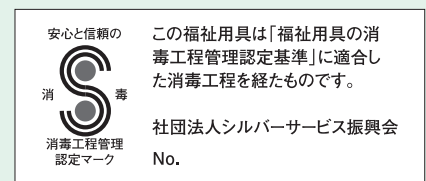
- (株)ロングライフ

- 那珂営業所 …… (茨城県)
- 土浦営業所 …… (茨城県)
- (株)ロングライフ …… (茨城県)
- 結城営業所 …… (茨城県)
- (株)東基
株式会社 東基 …… (東京都)
- (株)ニシワキ
本社ショールーム …… (愛知県)
- トヨタカローラ滋賀(株)
介護福祉用具相談室 …… (滋賀県)
- ケアライフ・メディカル サプライ(株)
指定居宅レンタルサービス ケアライフ (大阪府)

福祉用具の消毒工程管理認定制度

介護保険制度における福祉用具の利用は、原則、貸与(レンタル)という形態がとられています。福祉用具は基本的に再利用されるので、使用後に回収され、点検・消毒・保守点検を経て新しい利用者のもとに届けられます。しかし介護保険制度には消毒に関する具体的な基準がなく、また消毒の効果を利用者が確認することも非常に困難なため、平成16年に「福祉用具の消毒工程管理認定制度」が創設されました。

★用具に貼られている認定シールのイメージ



■新規

- 日建リース工業(株)
仙台介護センター …… (宮城県)
静岡流通センター …… (静岡県)
- パナソニックエイジフリーショップス(株)
東京レンタルセンター …… (東京都)
- ソネット(株)
ソネット(株) …… (群馬県)
- (株)ロングライフ
(株)ロングライフ …… (茨城県)
- (株)宮岡
リプロセンター川口事業所 …… (埼玉県)

■更新

- (株)日本ケアサプライ
茨城営業所 …… (茨城県)
つくば営業所 …… (茨城県)
栃木営業所 …… (栃木県)
群馬営業所 …… (群馬県)
東京営業所 …… (東京都)
新潟営業所 …… (新潟県)
長岡営業所 …… (新潟県)
富山営業所 …… (富山県)
石川営業所 …… (石川県)
福井営業所 …… (福井県)
岐阜営業所 …… (岐阜県)
名古屋営業所 …… (愛知県)

- 三重営業所 …… (三重県)
- 鳥取営業所 …… (鳥取県)
- 広島営業所 …… (広島県)
- 福山営業所 …… (広島県)
- 山口営業所 …… (山口県)
- 徳島営業所 …… (徳島県)
- 愛媛営業所 …… (愛媛県)
- (株)ヤマシタコーポレーション
南関東衛生管理センター …… (神奈川県)
北陸衛生管理センター …… (石川県)
静岡衛生管理センター …… (静岡県)
- フランスベッド(株)
山形サービスセンター …… (山形県)
群馬サービスセンター …… (群馬県)
千葉サービスセンター …… (千葉県)
枚方サービスセンター …… (大阪府)
- (株)ニチイケアネット
ニチイケアネット関東物流センター …… (千葉県)
ニチイケアネット関西物流センター …… (大阪府)
ニチイケアネット中国物流センター …… (広島県)
- (有)ダイユウ
大阪営業所 …… (大阪府)
- 日建リース工業(株)
郡山流通センター …… (福島県)
高松流通センター …… (香川県)
沖縄介護センター …… (沖縄県)
- (有)アクトヒューマンケア

- (有)アクトヒューマンケア …… (福岡県)
- (株)トーフク
(株)トーフク …… (宮城県)
- (株)アンミン
(株)アンミン …… (山形県)
- (株)丸屋
(株)丸屋 メガクリーンセンター …… (福岡県)
- 近鉄スマイルサプライ(株)
用具部 …… (大阪府)
- (株)小山商会
仙台支店 本社工場 …… (宮城県)
- (株)松永製作所
(株)松永製作所 …… (岐阜県)
- (株)はーとらいふ
はーとらいふクリーンセンター …… (栃木県)
- 大和総業(株)
大和総業(株) …… (栃木県)
- (株)クリーン新潟
(株)クリーン新潟 …… (新潟県)
- (株)ヒガシトウエンティワン
堺レンタルセンター ナンバーワン …… (大阪府)
- パナソニックエイジフリーショップス(株)
埼玉レンタルセンター …… (埼玉県)
- ケア・フリー静岡(株)
ケア・フリー静岡 …… (静岡県)
- トヨタカローラ滋賀(株)
介護福祉用具相談室 …… (滋賀県)

●全国の認定事業所リストについてはシルバーサービス振興会HPをご覧ください。

シルバーサービス振興会 検索

会員向け事業のご案内

WACコミュニケについて

シルバーサービス振興会の健康長寿のまち推進センター（WACセンター）では、昨年度に引き続き会員企業の異業種横断的交流組織である【WACコミュニケ】を、平成24年度は5回開催する予定です。

WACコミュニケは会員企業を対象に事前登録制をとっており、初回登録を終了した時点では28社、52名の方が参加登録されています。WACコミュニケでは昨年度の活動をさらに掘り下げ、高齢者住宅と省エネについての政策および制度、その市場動向や先進事例について、意見交換会、見学会、会員交流会等を通じて、よりいっそう理解を深めていきます。

●第一回WACコミュニケ開催

第一回は厚生労働省から山口義敬（やまぐちよしゆき）高齢者住宅対策専門官をお招きし、下記のとおり開催いたします。22企業、40名が出席を予定しています。

◇開催日 平成24年8月3日（金）

◇会場 シルバーサービス振興会10階会議室

◇内容 懇談会（第一部） 15:00～17:00

（仮題）「高齢者向け住まいに係る制度の現状と課題について」

会員交流会（第二部） 17:10～18:40



写真：企画検討会議の様様

●参加メンバー

トシ・ヤマサキまちづくり総合研究所
（株）鴻池組
鹿島建設（株）
東亜建設工業（株）
豊田通商（株）
積水ハウス（株）
（株）明治安田生活福祉研究所
シルバーサービス振興会（事務局）

第36回海外視察団（米国・サンフランシスコ）について

シルバーサービス振興会では、設立当初より海外のシルバーサービスや公的施策の視察を目的として、海外視察団の派遣を行っています。今年度は第36回海外視察団として、米国（サンフランシスコ）視察を予定しております。

今回の視察では、高齢者のための包括的ケア・プログラム、PACE（ベース：Program of All-inclusive Care for the Elderly…在宅でのケアが困難と認定された高齢者が在宅生活を継続するための包括的ケア）発祥の地・サンフランシスコにおいて、一都市滞在型の集中的な調査を行う予定です。

◆視察の見どころ

- 米国の医療・福祉制度のレクチャーを公的機関の担当者から直接受講
- NPOや営利企業など、民間による独自の高齢者ケアの取り組みを視察
- 富裕層向け、低所得者向けなど、所得階層に応じたサービスについて見学
- マネージドケア（定額性）の導入による、医療から生活支援まで一元的でシームレスなサービス提供の実態を調査
- 一都市滞在型の集中視察、各視察先との懇談型コミュニケーションによる情報収集

◆日程

11月18日（日）～24日（土）（7日間）

◆人員

20名（最小催行人員 12名）

社会保障費の増大に警鐘が鳴らされている昨今、民間の創意工夫が求められる米国の介護には学ぶところが大きいものと思われまます。わが国の今後の高齢者ケアを考えるためのヒントを得られるよう、調査を行ってまいります。

※視察の実施予定は変更となる場合がございます



介護福祉の情報発信ポータルサイト「知るNAVI」Q&A

シルバーサービス振興会では、高齢者向け商品・サービスに関するポータルサイト「知るNAVI」を運営しております。各業界の多彩な企業からご出展をいただいておりますが、本日は、事務局宛によくお問い合わせいただく内容を、Q&A形式にまとめてみました。

Q1 「知るNAVI」に介護・福祉関係者のアクセスが集まるのはなぜですか？

「知るNAVI」では、介護・福祉関連の豊富な情報発信を行っています。各企業の出展はもちろん、ケアマネ会員サイトとも提携し、介護・福祉に関する最新ニュースを毎日配信しております。情報収集ツールとして活用され、必然的に関係者のアクセスが集まっています。

Q2 1年間の出展料はどのくらいでしょうか？

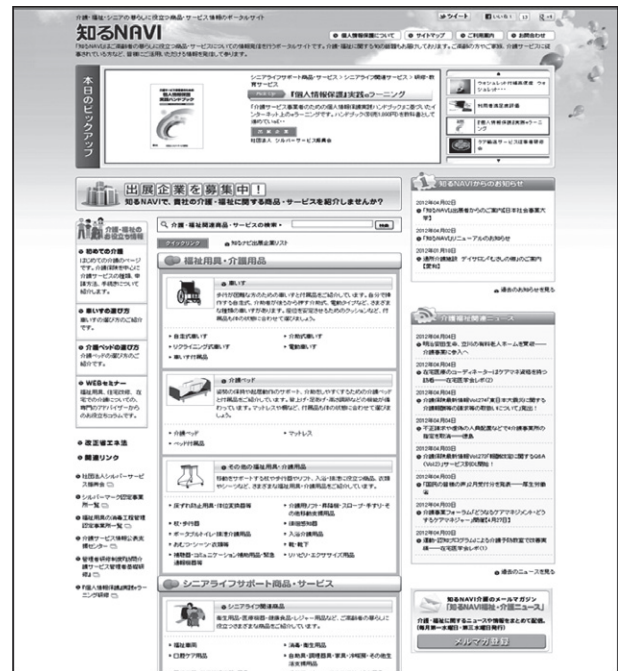
「知るNAVI」は、公益性を重視し、きわめてリーズナブルな料金設定です。たとえば、10商品出展の場合は31,500円、20商品出展の場合は63,000円です。

いずれも年額であり、しかも年度途中で申し込まれた場合には月割りで割引を行い、当会の会員企業であれば、さらにお安くなります。

Q3 出展申込の手続きを教えてください。

手続きはとても簡単です。サイト上から申込書をダウンロードした後、事務局宛にFAXか添付ファイルのメールをいただければ手続きは完了です。

後日、当会からサイトの使い方のマニュアル等の関係資料をお送りいたします。



まずはアクセスしてみてください！
<http://www.sil-navi.com/>



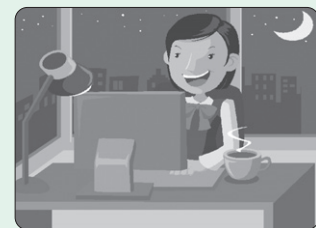
労働法が学べるe-ラーニング「訪問介護サービス管理者基礎研修」

改正介護保険法では、介護事業所への労働法規遵守を徹底しています。法令遵守のためにも、管理者には管理業務の正しい理解がさらに求められるようになったと言えます。e-ラーニングによる「訪問介護サービス管理者基礎研修」では、法令遵守を含む管理業務のあり方を習得することができます。

●コンプライアンスをマスターした管理者・責任者になるための研修● 「訪問介護サービス管理者基礎研修」

e-ラーニング研修とは、インターネット上で行う研修のことで、インターネットに接続できる環境があれば、いつでもどこでもすぐに空いた時間に学習できます。

機器の購入や特別な設定は必要ありません。申し込み手続きが完了すれば、自宅でも出張先でも好きなときに受講が可能です。



インターネットだから手軽に利用できます。

●お申し込みはホームページから [シルバーサービス振興会](#) トップページ右バナーから入って申し込むことができます。

※ほかにも厚生労働省のガイドラインに沿った「個人情報保護実践e-ラーニング」もごさいます。